

工事写真報告書

工事番号 平成 30 年度

工事名 T 様 邸

工事箇所 屋根・外壁・その他 塗装工事一式

工事住所 直方市 頓野

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観



外観



外観



外観

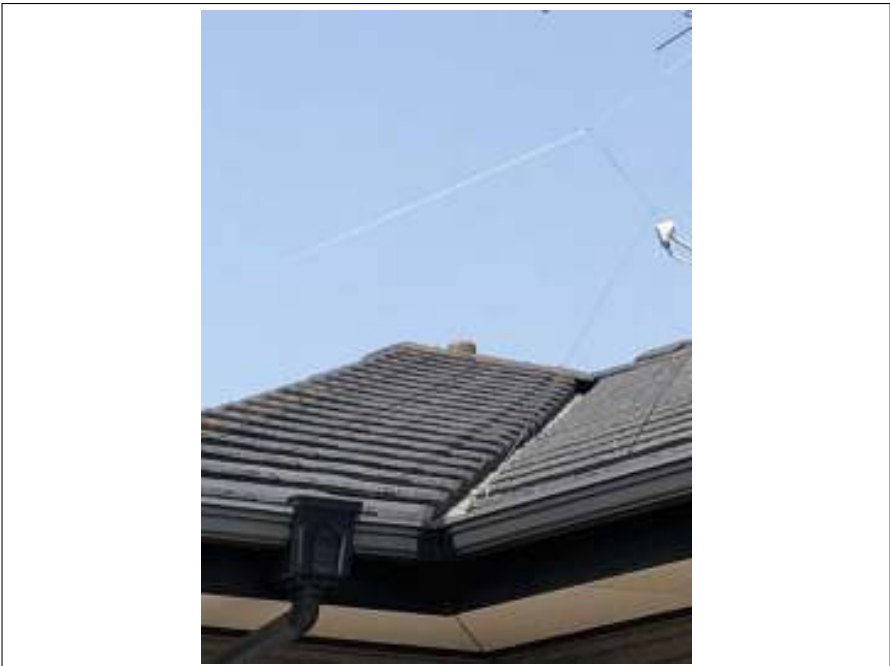


外観



屋根 セメント瓦

表面の塗装劣化が進み、雨水を吸って乾いてを繰り返す瓦の割れやズレが生じ、瓦の下の防水シートが破れてくると雨漏れを起こしてしまいますので、割れやズレなどを抑えるために塗装が必要です。



屋根



屋根

同上



屋根 _____

同上 _____



屋根 _____

同上 _____





破風板・鼻隠し

経年劣化しています。

劣化すると腐食、お住まいの痛みにつながりますので、下塗り・上塗りをおこないます。



破風板・鼻隠し

ヒビ割れ部分はパテ補修等で補修跡がわかりにくくようにおこない、塗装をしていきます。



樋・ダクトカバー

こちらは塩ビ素材になります。

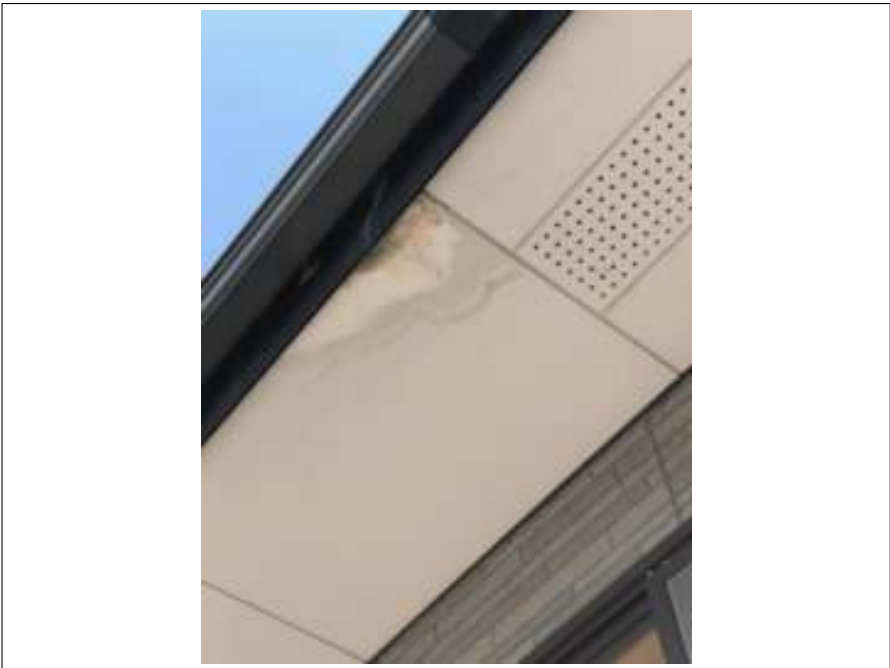
劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。



軒天

経年劣化しております。

この部分は、通気性の良い軒天専用の塗装をしていきます。



軒天

同上

※この部分は屋根・樋・鼻かくしのなにかしらの影響がでている可能性があります。

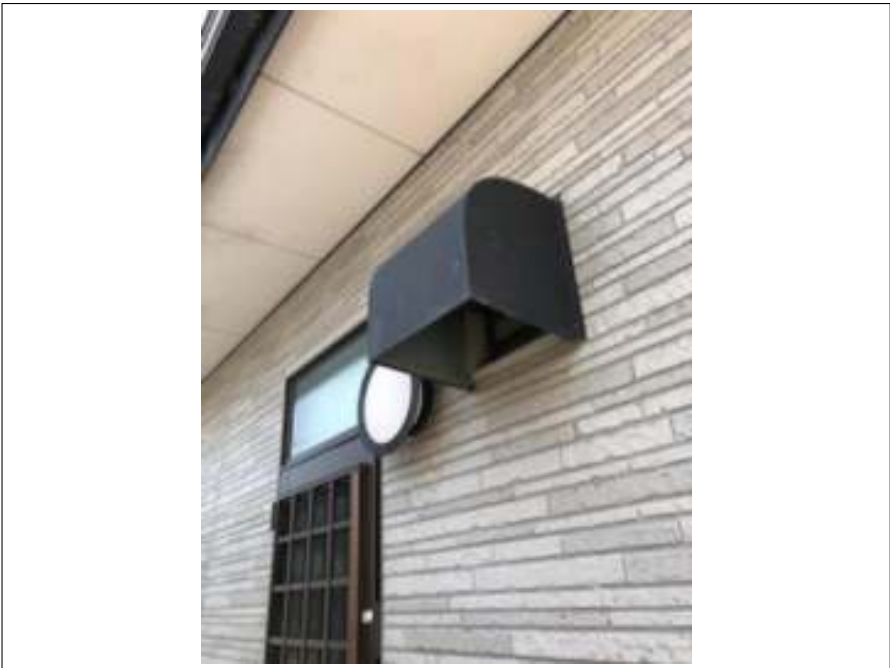
補修と塗装後に出てくる場合は、再度調査をお勧め致します。



雨戸

この部分は鉄、スチール素材になります。

劣化するとサビが発生してきますので塗装が必要です。



換気フード

対処方法

サビの発生している部分にいくら塗装をかけてもすぐにサビが表面化してきますので、サビが発生している部分はケレン作業でサビを落とし、サビ止め下塗りを行い塗装をしていきます。



土台水切り

同上



基礎 クラック部

アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。

中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながりますので、シーリング等で補修をおこないます。



基礎 クラック部

同上

Horizontal lines for additional text input in the second column.



外壁 現状

意匠性を活かすため、クリヤー施工
のご案内をさせていただきます。

外壁が濡れている状態が仕上りのイ
メージになります。

※外壁面で差が出る可能性があります。



外壁 現状

クリヤーの場合、現状のままの施工
となります。

クリヤーの場合、シーリング部は露
出する形になりますので、外壁塗装
の耐久性に合わせて、オートン化学
のオートンサイディングシーラント
又はイクシード15を使用します。



チョーキング現象

紫外線などにより塗膜の表面が劣化
し、チョークの粉状のような状態に
なっています。

この状態になると表面から水や湿気
を吸い込んでしまい、外壁や中の躯体
の痛みにつながりますので、早め
の塗装をお勧めします。



外壁 劣化部

劣化している部分があります。
この部分から雨水・湿気・炭酸ガス
等が直接浸入し、躯体・ボードの痛
みや建物の寿命につながりますの
で、ボードシーリングは打替え工事
をおこない、塗装をしていきます。



外壁 シーリング劣化部

クリヤー施工の場合はシーリング材
の上に塗装をするとひび割れや剥離
など不具合が生じますので、全面
シーリング後打ちをおこないます。



サッシ廻りシーリング劣化部

サッシ廻りも劣化しています。この
部分は深く撤去の際にサッシや外壁
を痛めたり、打替え後に雨漏れして
くる場合がありますので、打増しを
おこない塗装をしていきます。

※現状雨漏れしている場合は、打替
え施工が必要になります。



入隅シーリング部

同上



樋裏シーリング部

同上

※この部分を打替えする際は、樋の脱着費が別途必要になります。

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

